

大熊町を
端から端まで
● 知りつくそう！

●第8回 下野上地区
(〒979-1308)

下野上地区は大野駅を中心に商店街が発展してきた。町役場、公民館、図書館、保健センター、県立大野病院、複合型商工会館などを有し、町の中核となっている。

又、常磐道の建設も進められており、町の景観が変貌しようとしている。

旧地名を訪ねて

ふるさと
再発見



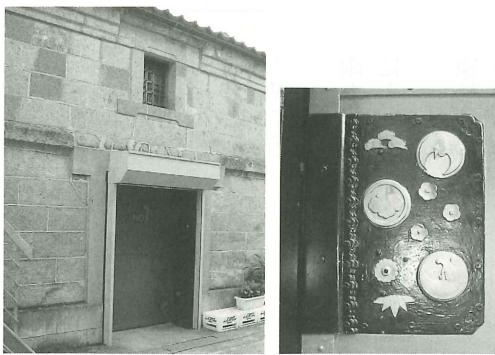
下野上の人口(平成19年6月30日現在)

地区名	男	女	小計
大野	841	825	1,666
原	221	227	448
北向	102	112	214
清水	450	430	880
金谷平	138	151	289
合計	1,752	1,745	3,497

大熊町大字下野上 〒979-1308

新	オオノ 大野	カナヤダイラ 金谷平	キタムカイ 北向	シミズ 清水	ハラ 原
旧	ヒロヤチ 広谷地の一部	ヒロヤチ 広谷地の一部	キタカナヤ 北金谷の一部	ミナミカナヤ 南金谷の一部	キリクサ 桐草
	スズウチ 鈴内の一部	キタカナヤ 北金谷の一部	スズウチ 鈴内の一部		
	フナキワ 鮒沢	スズウチ 鈴内の一部	ウシロヤマ 後山		
	カラキワ 唐沢	ミナミカナヤ 南金谷の一部			

下野上の中でも大野地区は町の中心地である。駅前の商店街にある老舗の神谷商店の石蔵は、大正時代に造られたおよそ百数年前のものだ。駅前にあつた蔵を、先々代が譲り受けた現在の場所に移築したとか。扉は分厚く、まるで時代劇にでてきそうなたたずまいである。鍵穴の回りには鶴、亀、松、竹、梅と縁起の良い図柄が刻まれている。



旧保育所は現在ストックヤードになっている。毎週日曜日、シルバー人材センターの会員の方が町の委託をうけて運営している。大勢の人が車で資源ゴミを運んでくる。利用者に聞いてみると、「少しでもたまつたら、すぐここに持ってくるのでゴミ袋も使わないで済むし、保管の必要もないで助かる」とのことだった。



「おおくまの民話」にある、「貞藏のつづみ」は中央台霊園へ行く途中にある「ふくべ（ひょうたん形）堤」のことではないかと地区の人々に聞きました。今は道路がその上を通り、堤は二分されている。



あつたそうだが、現在は使い直している。どちらの蔵も長い年月にあちこち傷んでしまったそうだが、修繕しながら今まで大切に使われている。

貞藏のつづみ(民話より)

さいつた?えらいごどだ
若者らは顔を見合わせだが、この深いつづみ、誰も助けにくべどしね。ほうしたら、一番おとなしい嘉兵衛が
ねえし、難儀していたんだぞ。これを哀れに思った殿様は田んぼ作つても水は流れてこねえし、みんなの禪俺さ縛れ!
山一つ向こうさ、つづみを築つてくれたど。ほれがらは、この七軒の人らは安心して田を作ることができるようになつたど。
ある年の夏の暑い日のごと、七軒の家の若者七人は土手の刈払いが終わつて昼飯を食つていた。早く食い終わつた
貞藏は「早く、飯食つて水浴びしねえが?」
「んでも、こここのつづみはすりばちだぞ」
「何だ、おめえらおつかねえのが、いいど、おれ、一人であひつから、見でろッ!」
貞藏はほう言うど、褲いつちようになつてつづみさ飛び込んだ。貞藏は泳いだりもぐつたり、得意んなつてふざげていた。岸さいだ六人は、はじめのうちは面白くて、見ていいだと。
ほのうち木の下で昼寝したりして、しばらくして、みんながふと、気づいたら、貞藏の姿は見えねがつた。貞藏がいね。どこ
ほのごどがあつてがら、村の人らは「貞藏はこのつづみはおつかねがら、泳ぐなよ、ど、教えてくつちやようだ」
ど、言つて、ほのつづみのごどを「貞藏のつづみ」と呼ぶようになつたんだぞ。ほれがら、泳ぐなよ、ど、教ぐ者は誰もいねくなつたど。おしまい

